

SDGs実現に向けた高度人材育成プログラム

知の共創プログラム (社会人博士後期課程)

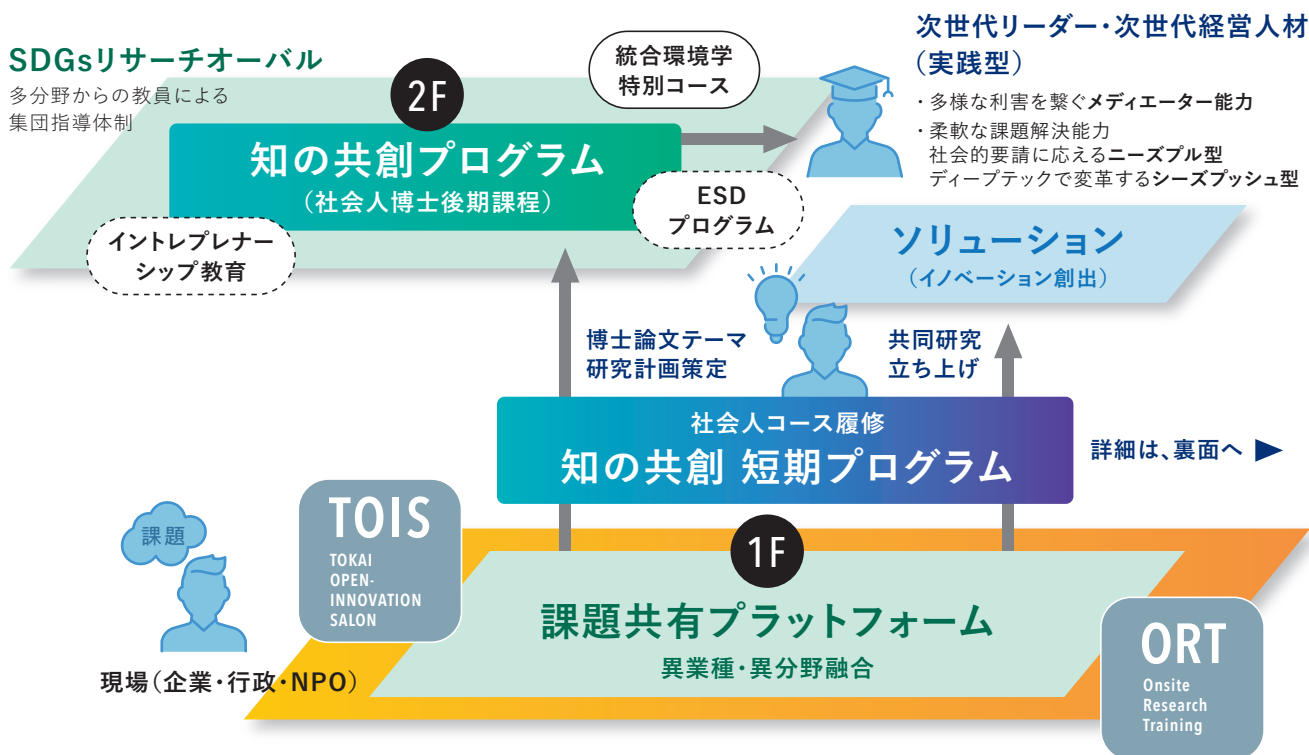
令和4年度 成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業(メニューD)
SDGsの実現に向けた企業の取り組みを支援するための課題発見・課題解決型の高度経営人材育成モデルの構築

働学一体で、真のSDGs実現を担う 実践力あるイノベータ人材を育成

実現する特徴

- 1 社会、企業とアカデミアをつなぐ「課題共有プラットフォーム」でのテーマの探索と創出
- 2 課題発見～解決(ソリューション開発)に大学院プログラムが寄り添う「SDGsリサーチオーバー」
- 3 ビジネス視点の共同研究をベースに、担当者の専門性(学位)あるシリアルイノベーターを育成する「2階建構造」の横断型リカレント教育モデル

2階建構造の横断型リカレント教育モデル



概要

社会人自らが直面する社会課題を研究テーマとする環境学研究科特有の博士後期課程プログラム
所属組織の抱える課題持ち込み可、同時に担当者への汎用的リカレント教育を提供

履修期間授業料

最短1年～最長6年の履修が可能
初年度約83万円(入学料282,000円+授業料535,800円/年*) ※授業料は年度毎に変わることがあります。

学位審査条件 (環境学研究科)

- 1 セミナーなど 8単位(計60コマ)：2単位×4回受講、週1～2時間、オンライン対応可
- 2 個別セミナー(指導教員と実施)：ゼミ形式などフリースタイル、適時開催
- 3 学術論文+業務成果：各一件以上、論文2報など、応相談

知の共創 短期プログラム

2023年度 後期受講生募集

本プログラムのプレ体験であるとともに、2024年度本プログラム(知の共創プログラム)受講に向けて、研究計画を練り上げて実施企業のニーズをベースに、集団指導体制で多面的に研究計画の策定を支援するプログラムです。

社員を派遣する企業も、受講する社員も、 メリットのあるプログラム

企業様にとっては、イノベーション(新規事業)とイノベーター(人材)育成をプランニングし、投資判断する機会となります。そして、研究担当者=受講生様には、高い専門性を持つイノベーターへの成長を決心するチャンスです。

派遣企業

成果志向の研究開発テーマを受講生社員を通じて
大学と膝を突き合わせてプランニング

安心、納得の
投資判断

イノベーター
次世代経営
人材育成

受講社員

所属組織でのミッション達成と
自分自身のキャリア形成を少ない負担で実現

公私&働学
両立

ミッション
達成業務
||
院での研究

入学金

無料 (但し2024年度
本プログラム入学時には
入学金+授業料=約83万円要)

期間

2023年10月1日
~2024年3月31日
(オンライン可、応相談)

実施内容と流れ

Step 1

事前マッチング

企業一担当者(受講者)一大学で
指導体制、学修計画作成

Step 2

研究計画策定

指導教員+集団指導体制による
メンタリング

Step 3

公開コロキウム

研究計画発表+議論、
公開スタイル(1人1時間程度)

Step 4

知の共創セミナー受講(一部)

2単位
(本プログラム単位化検討中)

Step 5

最終発表会

公開スタイル、
サーティフィケート発行

申込み方法

TOIS、ORTでの活動からのご相談

各御担当教員からお問い合わせください。
または、下記大学院担当係まで
お問い合わせください。

既存共同研究からのご相談

オープンイノベーション推進室に
お問い合わせください。

その他

ホームページから、
お問い合わせください。(調整中)

お問い合わせ先

国立大学法人 東海国立大学機構 **名古屋大学大学院環境学研究所** env@t.mail.nagoya-u.ac.jp (担当:大学院係)

国立大学法人 東海国立大学機構 **名古屋大学未来社会創造機構** nakamura.keiko.w2@f.mail.nagoya-u.ac.jp (TOIS事務局:中村)

知の共創プログラムホームページ https://www.env.nagoya-u.ac.jp/co_creation/index.html

その他

- 「知の共創プログラム」は、企業だけでなく、行政やNPOなどの関係者にも開かれています。広く異分野・異業種交流の場としてご活用いただけるとともに、個別ではできないオープンイノベーションが可能です。
- 短期プログラムは、2023年度後期のみ限定プログラムです。(来年度以降の実施は不明)
- 本プログラム履修期間は、最短は1年ですが、最長は6年まで延長することが可能です。